

平成 27 年度第 1 回  
鹿島地区新高校  
設置準備委員会  
(資料)

平成 27 年 6 月 1 日  
佐賀県教育委員会

## 目次

	頁
資料 1	新高校設置準備委員会設置要領 . . . . . 1
資料 2	鹿島地区新高校設置準備委員会委員構成 . . . . . 3
資料 3	新高校設置に向けた検討体制 . . . . . 4
資料 4	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次) (概要版) . . . . . 5
資料 5	県立高校再編整備計画 (鹿島地区) . . . . . 8
資料 6	鹿島地区新高校設置準備委員会検討スケジュール . . . . . 9
資料 7	めざす学校像 . . . . . 10

## 新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日  
佐賀県教育委員会教育長決定  
一部改正 平成17年4月 1日  
一部改正 平成18年7月12日  
一部改正 平成21年4月 1日  
一部改正 平成27年4月 1日

## (設 置)

第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校（以下「新高校」という。）の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

## (所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。

- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
- 二 新高校の施設・設備に関すること
- 三 新高校への円滑な移行に関すること
- 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

## (組 織)

第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校（以下「再編等対象校」という。）の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。

- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
- 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

## (会 議)

第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。

- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

## (事務局)

第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

## (補 足)

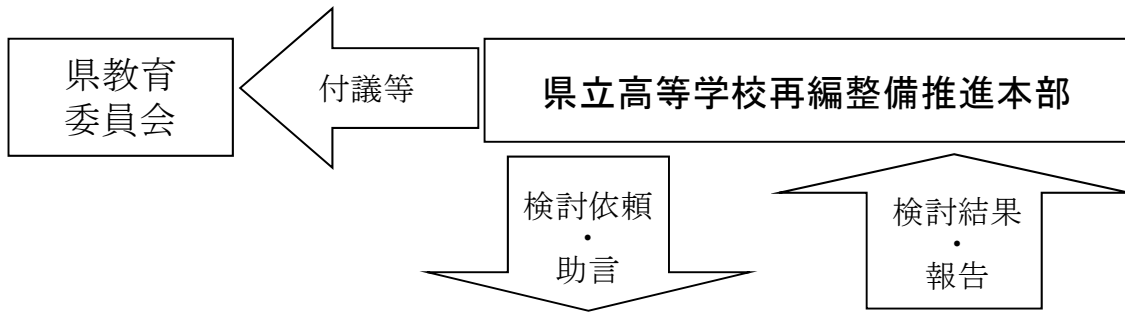
第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委 員 会 名	再 編 等 対 象 校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校

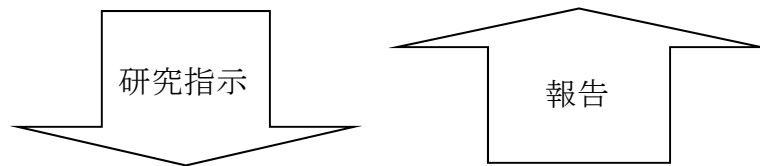
**資料2** 鹿島地区新高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	鹿島高等学校 校長	角 敬一郎	委員長・学校関係者	
2	鹿島実業高等学校 校長	渡辺 孝一	副委員長・学校関係者	
3	鹿島高等学校 教頭	今田 康光	学校関係者	
4	鹿島実業高等学校 教頭	中島 淳		
5	鹿島市教育長	江島 秀隆	鹿島市	市町関係者
6	鹿島市総務部長	橋村 勉		
7	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市	
8	白石町教育長	江口 武好	白石町	
9	太良町教育長	松尾 雅晴	太良町	
10	鹿島高等学校 同窓会代表	矢野 善紀	地元関係者	
11	鹿島実業高等学校 同窓会代表	小池 幸照		
12	鹿島高等学校 PTA代表	岡田 和人		
13	鹿島実業高等学校 PTA代表	藤永 一男		
14	鹿島市立西部中学校長	白仁田 茂	中学校関係者	
15	鹿島市立東部中学校長	植松 正鋼		
16	副教育長（教育情報課長）	福田 孝義	県教委関係者	
17	教育政策課長	八谷 幸浩		
18	教職員課長	福地 昌平		
19	学校教育課長	松尾 敏実		
20	保健体育室長	三上 智一		
21	教育支援課長	源五郎丸 靖		
22	県立高校再編整備推進室長	甲斐 照章		
23	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
事務局	鹿島高等学校教諭	久野 直樹		
	鹿島実業高等学校教諭	梶原 圭介		
	県立高校再編整備推進室 企画主査	高山 裕樹		
	県立高校再編整備推進室 企画主査	梶島 秀樹		



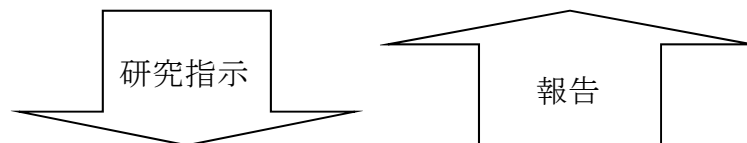
### ■新高校設置準備委員会（H27.4月設置）

- 委員構成
  - ・両校関係者（教職員）
  - ・地域関係者（市町、高校PTA・同窓会、中学校長代表等）
  - ・県教育委員会
- 所掌事項  
新高校の教育内容及び管理運営等、施設・設備、新高校への円滑な移行等

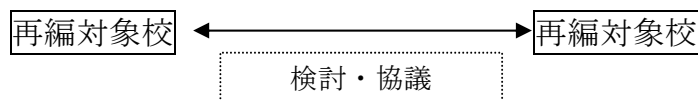


### ■新高校作業部会

- 委員構成 両校の教頭・担当者、県教育委員会担当者（事務局含む）
- 検討事項  
委員会の所掌事務のうち研究指示事項



### ■校内検討委員会



- 検討事項  
作業部会の検討事項のうち研究指示事項

資料4 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）  
（概要版）

新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）（概要版）  
（計画期間：平成33年度まで）

佐賀県立高等学校生徒減少期対策審議会答申（H24.8月）  
「生徒減少期に対応した県立高等学校教育の充実・発展に資する対策について」

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）」<たたき台>  
（H25.11月）

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」（案）  
（H26.10月）

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」  
（H26.12月）

新実施計画策定に当たっての基本的な考え

《背景》

- ・ 新たな生徒減少期
- ・ 社会経済情勢の変化

《目標》

- ・ 生徒が進路希望を実現できる教育環境の整備
- ・ 高等学校教育の質的充実

《方向性》

- ・ 長期的・全県の視野に立った高等学校の再編整備の推進
- ・ 高等学校の学科等の整備

新実施計画策定の方針

新実施計画については、次の区分により、策定することとする。

新実施計画 （第1次）	平成30年度に到来する新たな生徒減少期に向けて、早期に方針を決定し、準備に着手する必要がある県立高等学校の再編整備等
新実施計画 （第2次）	平成30年度に到来する新たな生徒減少期に向けて、今後更に調査や検証、協議等が必要な県立高等学校の再編整備等

県立高等学校再編整備の基本方針

1 学校規模

1学年160人～320人（4学級～8学級）とする。ただし、1学年120人（3学級）の学校については、柔軟に対応する。

2 再編の対象

次のいずれかに該当する場合は、再編の対象校として検討する。

- ・ 1学年120人（3学級）以下の高等学校で、学校規模に由来する課題により、必要な教育活動を維持することが困難であると見込まれる場合
- ・ 1学年120人（3学級）の高等学校で、定員を維持することが困難となることが見込まれる場合

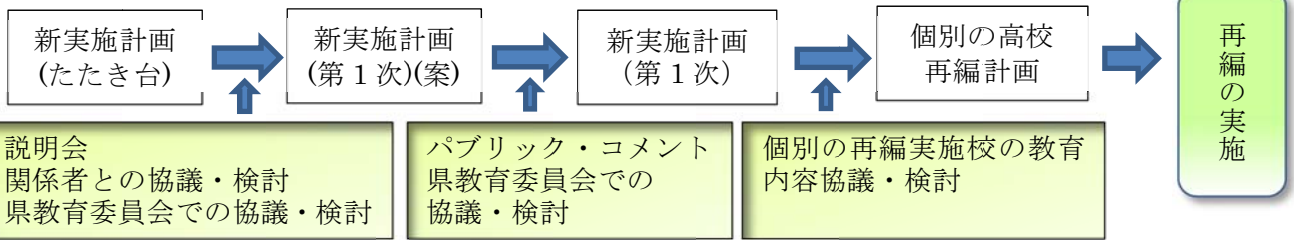
[1学年80人（2学級）の高等学校が存続する場合]

- ア 特色ある教育施策の実施等により、県全体の教育効果を高めることが特に期待される場合
- イ 地理的条件や交通事情により、生徒の教育に重大な支障を来すことが懸念される場合

## 再編整備の進め方

### 1 新実施計画（第1次）

新実施計画（第1次）については、個々の再編整備計画をもとに、再編対象ごとに設置準備委員会を設置し、再編実施後の高等学校における教育内容等について検討する。



### 2 新実施計画（第2次）

平成28年度を目途に策定する。

《主な検討事項》

- ・ 県全体の農業教育と佐賀農業高等学校の在り方に係る検討
- ・ 神埼地区の高等学校（神埼高等学校・神埼清明高等学校）の学校運営の在り方に係る検討
- ・ 県立高等学校の活性化（グローバル社会への対応、産業技術の高度化への対応（専攻科等の検討））
- ・ 通信制課程の移転及び昼間定時制の導入

## 具体的な再編整備計画

### 1 平成14年計画に掲げた再編整備計画

#### ① 伊万里地区（平成31年度まで）

再編対象校	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
新高等学校の場所	伊万里農林高等学校若しくは伊万里商業高等学校又は校舎制* (校地については、地域の意見も聞きながら、引き続き検討する。)
募集定員	1学年200人（5学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、伊万里地区については、生徒数の減により、平成33年度にさらに募集定員を40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

#### ② 武雄・杵島地区（平成30年度まで）

再編対象校	白石高等学校、杵島商業高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1学年200人（5学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

佐賀農業高等学校は、本県の農業科において中心的な役割を担う学校と位置付けることから、現在の学科を維持できるよう、当面、1学年120人（3学級規模）を維持し、単独校とする。

なお、武雄・杵島地区のうち杵島地区については、生徒数の減により、平成32年度にさらに募集定員を40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

### 2 新たな再編整備計画

#### ① 唐津地区（平成30年度まで）

改編対象校	厳木高等学校
新高等学校の場所	現在の校地
募集定員	1学年80人（2学級規模） ・ 学区募集枠 40人 ・ 全県募集枠 40人
学 科	普通科
備 考	全県募集枠については、全日制高等学校で学ぶ意欲と能力のある、不登校経験や発達障害のある生徒及び高等学校中途退学者を対象とする。



## ② 鹿島・藤津地区（平成30年度まで）

再編対象校	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1 学年280人（7 学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

再編対象校	塩田工業高等学校、嬉野高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1 学年200人（5 学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、鹿島・藤津地区については、生徒数の減により、平成31年度及び平成32年度に、さらに募集定員を各40人（1 学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

\* 校舎制：再編前の高等学校の校舎をそれぞれ活用し、複数の校舎を持つ1つの高等学校として再編する。

## 県立高等学校の活性化

### 1 基本的な考え方

今後の県立高等学校の質的充実を図るための視点

- (1) グローバル社会への対応
- (2) 産業技術の高度化への対応
- (3) 教育機会の更なる拡大

### 2 学科等整備の基本方向

- (1) 職業教育の中心的な役割を担う高等学校

産業技術の高度化への対応として、職業教育の中心的な役割を担う高等学校を位置付ける。

学 科	中心的な役割を担う高等学校
農業科	佐賀農業高等学校
工業科	佐賀工業高等学校
商業科	佐賀商業高等学校
家庭科	牛津高等学校

- (2) 生徒の実態に応じた教育機会の更なる拡大

不登校経験や発達障害のある生徒及び高等学校中途退学者に対する教育については、モデル校である太良高等学校の検証結果等も踏まえて、同様の取組を厳木高等学校へ展開する。

※ なお、グローバル化への対応や高度技能者の育成に係る専攻科等についての検討等については、引き続き検討を行い、新実施計画（第2次）で取り組むこととする。

## 県立高等学校の通学区域

全日制課程の普通科について設定している4学区（東部・中部・北部・西部）を、学校の配置状況、生徒の通学状況、地域間のバランスを総合的に勘案して、平成28年度から、当面、東部学区と中部学区を合わせた学区（新東部学区）と北部学区と西部学区を合わせた学区（新西部学区）の2学区とする。

なお、さらに通学区域を拡大し、全県一区とすることについては、2学区とした後の通学状況等を検証しながら、引き続き検討していくこととする。

## 各高等学校の志願動向と募集定員

各高等学校の募集定員については、基本的に各学区・地区内の中学校卒業見込者数の動向に応じて決定するが、生徒の志願動向を重視し、中学校卒業見込者数の減少による各学区・地区の募集定員の減がない場合でも、2年連続して一般選抜試験の学校別の志願倍率が1倍に満たなかった高等学校については、募集定員の減を検討する。

資料5

鹿島・藤津地区における再編計画

- 鹿島・藤津地区の生徒減少に合わせ、平成30年度までに、県立高等学校の再編を実施する。

再編対象校	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
新高等学校の場所	当面、校舎制
募集定員	1学年 280人（7学級規模）
学 科	現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。

なお、鹿島・藤津地区については、生徒数の減により、平成31年度及び平成32年度に、さらに募集定員を各40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）」より抜粋（p8）

## 鹿島地区新高校設置準備委員会検討スケジュール（案）

回	時期	主な検討項目
第1回	H27年 6月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員委嘱</li> <li>・新実施計画の概要</li> <li>・鹿島地区の再編計画について</li> <li>・新高校設置に向けての検討事項及び検討スケジュール</li> <li>・めざす学校像（現状を踏まえた意見交換） など</li> </ul>
第2回	H27年 7月下旬 ～8月上旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めざす学校像</li> <li>・学科の構成（現状分析、今後の方向性についての意見交換） など</li> </ul>
第3回	H27年 10月上旬 ～10月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科の構成（新高校の学科構成 等）</li> <li>・校舎制（他県の状況を踏まえた意見交換） など</li> </ul>
第4回	H27年 12月下旬 ～H28年 1月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎制</li> <li>・新高校の教育内容（教育課程、校時 等） など</li> </ul>
第5回	H28年 3月中旬 ～3月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務分掌</li> <li>・各種委員会 など</li> </ul>
第6回 ～	H28年 4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育内容に係る検討 （平成27年度からの継続検討）</li> <li>・新高校の校名、校章、校歌、制服制定に係る検討</li> <li>・施設・設備に係る検討 など</li> </ul>
備考	H29年2月  H29年3月  H29年4月～  <b>H30年4月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月議会（条例改正案）</li> <li>・新高校再編計画</li> <li>・広報活動、施設・設備の整備</li> </ul> <p><b>開校</b></p>

## 1 現在の状況

## 学校の概要 (「H27学校要覧」等による)



## 鹿島高等学校

## ○校訓 「至誠・自律・創造」

至誠...誠実に生き、人のために社会のために尽くす。  
自律...自らを律し、心身ともに逞しく自己の成長を図る。  
創造...知性を磨き、課題に挑戦し未来を自ら創り出す。

## ○教育目標

校訓の精神を基調に、人格の完成をめざして人間教育の振興に努めるとともに、心身ともに逞しく、豊かな知性と情操を備えた、地域・国家及び国際社会の発展に貢献できる人材を育成する。

## ○学科・定員 普通科200名

## ○特色

- ・国公立大学の合格者100名前後
- ・100年以上続く伝統行事「牡丹餅会」

## ○課題

- ・難関大学の合格者数の質と量の両面での一層の向上
- ・「地域の子どもは地域で育てよう」という気概を地域に根付かせる



## 鹿島実業高等学校

## ○校訓 「大志」「錬磨」「創造」

## ○教育目標

社会をたくましく生き抜く、人間性と専門性を兼ね備えた職業人を育成する。

## ○学科・定員 食品調理科40名 商業科80名

## ○特色

- ・就職、進学とも100%を達成
- ・花ボラ(環境美化ボランティア)の実施
- ・鹿実フェア(高校生レストラン、高校生モール)の開催
- ・100年以上続く伝統行事「牡丹餅会」

## ○課題

- ・自主的な学習態度の定着
- ・国立大学、公務員試験の合格率

## 進路状況 (「卒業後の状況調査H27.3卒業生(速報値)」による。数値は人数。)



## 鹿島高等学校

四年制大学149(うち国公立94)

短期大学7

専修学校等31

就職4

卒業生数191

## &lt;主な進学先&gt;

(国公立)筑波大学2、東京学芸大学1、京都大学1、大阪大学1、島根大学1、広島大学4、山口大学4、福岡教育大学1、九州大学4、九州工業大学1、佐賀大学27、長崎大学11、熊本大学8、大分大学3、宮崎大学2、鹿児島大学2、下関市立大学1、北九州市立大学5、福岡女子大学2、長崎県立大学5、宮崎県立看護大学1、大阪市立大学1、大阪府立大学1、(私立)立教大学1、東京理科大学1、福岡大学10、西南学院大学3、中村学園大学3、久留米大学4、西九州大学6、(短期大学)大分県立芸術文化短大1、鹿児島県立短大1、中村学園短大4、(専修学校等)嬉野医療センター附属看護学校、武雄看護リハビリテーション学校、佐賀県立総合看護学院、九州国際ビジネス専門学校、佐賀県産業技術学院

## &lt;主な就職先&gt;

警視庁、自衛隊、佐賀県警、嬉野市役所



## 鹿島実業高等学校

四年制大学12(うち国公立0)

短期大学18

専修学校等23

就職64

卒業生数117

## &lt;主な進学先&gt;

(私立)西九州大学3、九州産業大学2、久留米大学2、日本文理大学3、東海大学1、長崎純心大学1、(短期大学)西九州短大9、佐賀女子短大4、(専修学校等)九州国際ビジネス専門学校、佐賀コンピュータ専門学校、佐賀工業専門学校、麻生情報ビジネス専門学校、柳川リハビリテーション学院、佐賀歯科衛生専門学校、鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校

## &lt;主な就職先&gt;

佐賀銀行、佐賀県農業協同組合、佐賀県有明海漁業協同組合、JAビバレッジ、Aコープ佐賀、佐賀シール工業、祐徳薬品工業、祐徳稲荷神社、祐徳自動車、友朋会、高島病院、白石共立病院、山崎製パン、魚国、デンソー、トヨタ自動車、美々卵、マツダ、イオン九州、にしけい、嬉野観光ホテル大正屋、ホテルニューオータニ佐賀、自衛隊

部活動 (「H27学校要覧」による。数値は部員数。)



鹿島高等学校

<体育部>

野球(72)  
バレーボール 男子(10) 女子(32)  
ソフトテニス 男子(22) 女子(30)  
テニス 男子(12) 女子(9)  
バスケットボール 男子(25) 女子(25)  
陸上競技 男子(18) 女子(11)  
剣道 男子(22) 女子(10)  
弓道 男子(34) 女子(20)  
サッカー(48)  
柔道(4)



<文化部>

吹奏楽(37)  
美術(20)  
書道(14)  
図書・文芸(2)  
写真(11)  
天文学(10)  
家政(24)  
JRC同好会(0)



鹿島実業高等学校

<体育部>

野球(41)  
バレーボール女子(28)  
テニス男子(12)  
テニス女子(14)  
バスケットボール女子(26)  
弓道(39)  
ソフトボール(22)  
レスリング(15)  
サッカー(40)  
陸上競技(10)

<文化部>

手芸・茶華道(2)  
食物部(30)  
情報処理(17)  
簿記(0)  
美術(1)



主な行事



鹿島高等学校

- 【 4月】入学式  
県下一斉学力診断テスト(1年)  
1年生宿泊研修  
開校記念遠足
- 【 6月】県下一斉模試(2・3年)
- 【 7月】佐大ジョイントセミナー(2年)  
「先輩に学ぶ」(1年)
- 【 8月】県下一斉模試(全学年)
- 【 9月】赤門祭(文化祭、体育祭)
- 【10月】芸術鑑賞会  
牡丹餅会
- 【11月】県下一斉模試(3年)
- 【 1月】県下一斉模試(1・2年)  
大学入試センター試験  
修学旅行(北海道スキー研修)  
校内マラソン大会(1・2年)
- 【 3月】卒業式



鹿島実業高等学校

- 【 4月】入学式  
県下一斉学力診断テスト(1年)  
1年生宿泊研修  
開校記念遠足
- 【 6月】県下一斉就職学力テスト(2・3年)  
全商珠算・電卓実務検定  
全商簿記実務検定
- 【 7月】県高校生徒商業研究発表大会
- 【 9月】インターンシップ  
就職試験開始  
全商情報処理検定
- 【10月】県商業技術競技会  
体育大会  
芸術鑑賞会  
牡丹餅会
- 【11月】全商珠算・電卓実務検定  
県商簿記検定
- 【12月】鹿実フェア
- 【 1月】全商情報処理検定  
全商簿記実務検定  
修学旅行
- 【 3月】卒業式



## 2 新高校のめざす学校像

- ・ 教育目標について
- ・ 学校の特色づくりについて
- ・ 育成したい人材について
- ・ 地域との連携について
- ・ その他